

第2章 市民アンケート調査結果

2-1 調査概要

(1) アンケート調査の目的

市民が日頃まちづくりについて感じていることや、まちづくりのあり方に関する意見を、都市計画マスタープランの策定に反映させるため、アンケート調査を行いました。

(2) 実施期間

市民アンケート調査は、令和元年8月上旬に配布し、令和元年8月下旬に回収しました。高校生アンケートは、令和元年11月上旬に配布し、令和元年11月下旬に回収しました。

(3) 調査対象

- 市民アンケート : 18歳以上の市民2,000人を対象としました。なお、対象者の抽出に際しては、無作為抽出としました。
- 高校生アンケート : 市内の高等学校(奈良県立五條高等学校、五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校、学校法人智辯学園中学校・高等学校)に通学する高校生500人を対象としました。

(4) 実施方法

- 市民アンケート : 調査票を郵送配布し、郵送回収しました。
- 高校生アンケート : 各高等学校へ調査票を配布し、教室で回収しました。

(5) 回収状況

■各アンケートの回収率の状況

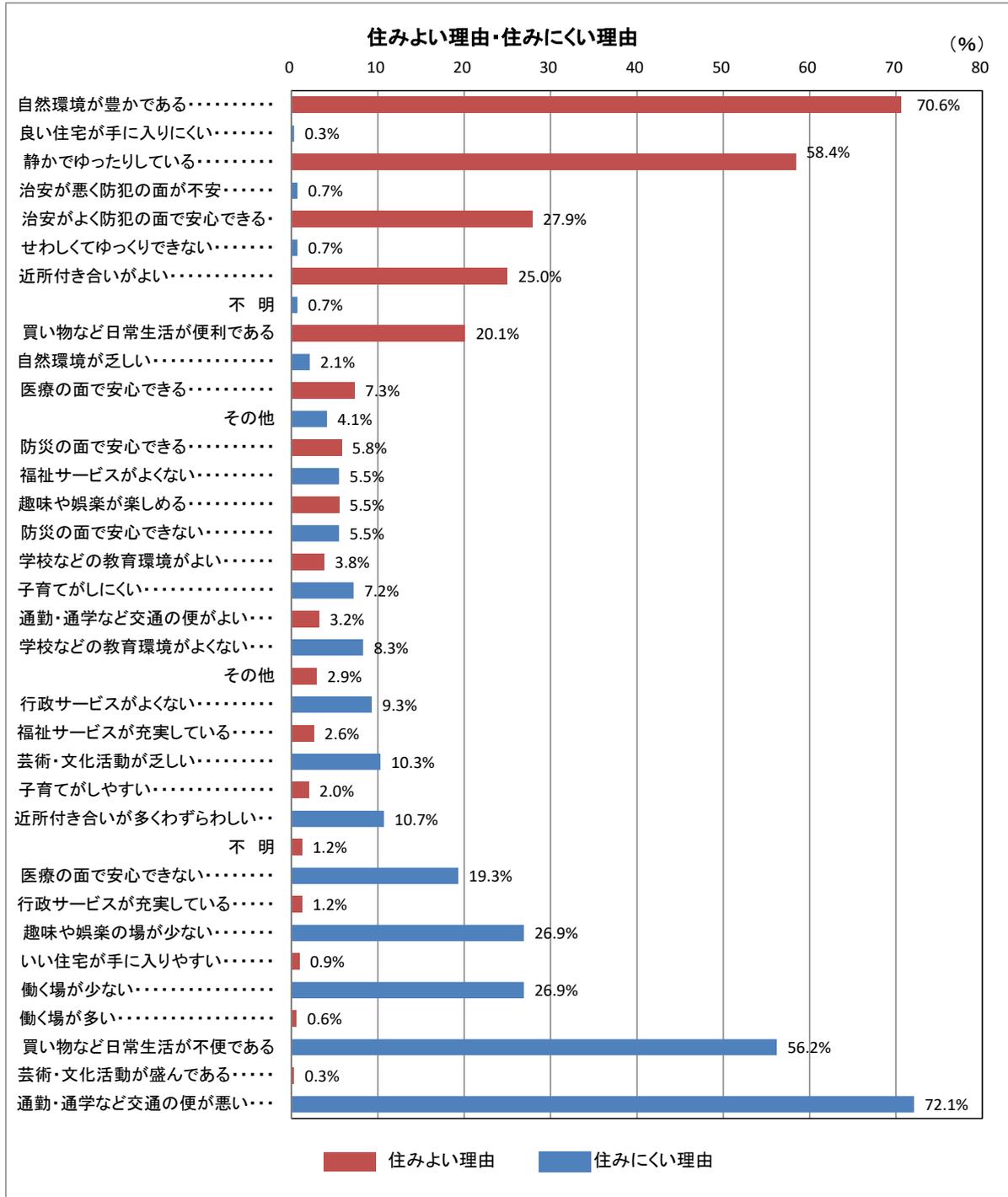
アンケートの種類	配布数	回収数	有効回答率
市民アンケート	2,000	648	32.4%
高校生アンケート	500	445	89.0%

2-2 市民アンケート調査結果（抜粋）

(1) 五條市の住みよい理由、住みにくい理由（複数回答）

五條市の住みよい理由については、「自然環境が豊かである」（70.6%）、「静かでゆったりしている」（58.4%）、「治安がよく防犯の面で安心できる」（27.9%）、「近所付き合いがよい」（25.0%）などとした方の回答数が多くなっています。

一方、五條市の住みにくい理由については「通勤・通学など交通の便が悪い」（72.1%）、「買い物など日常生活が不便である」（56.2%）、「趣味や娯楽の場が少ない」（26.9%）、「働く場が少ない」（26.9%）などとした方の回答数が多くなっています。



(2) 五條市の住みよい理由、住みにくい理由の経年比較

前回市民アンケート調査（2010.12）と比較（今回：住みよい理由・住みにくい理由、前回：五條市の良いところ・良くないところ）すると、次のような傾向が読み取れます。
 注）前回回答は「いくつでも」で、今回回答は「3つまで」となっており、単純に比較はできませんが、傾向は読み取れると考え、比較を行いました。

「住みよい理由・五條市の良いところ」では、「自然環境の豊かさ」や「治安の良さ」が上位を占めているのは変化がありません。

一方、「住みにくい理由・五條市の良くないところ」では、「交通が不便（通勤・通学、買物等）」や「娯楽の場が少ない」「働く場が少ない」が上位を占めているのは変化がありません。

■住みよい理由

今回(2019.8):住みよい理由			前回(2010.12):五條市の良いところ		
順位	項目	回答率	順位	項目	回答率
1	自然環境が豊かである	70.6%	1	緑豊かな山々がある	66.4%
2	静かでゆったりしている	58.4%	2	災害が少ない	55.3%
3	治安がよく防犯の面で安心できる	27.9%	3	空気がきれい	52.7%
4	近所付き合いがよい	25.0%	4	親族や友人が多く住んでいる	35.6%
5	買い物など日常生活が便利である	20.1%	5	治安が良い	33.1%
6	医療の面で安心できる	7.3%	6	農地が多く、景色や環境が良い	31.7%
7	防災の面で安心できる	5.8%	7	昔からの街なみが残されている	28.9%
8	趣味や娯楽が楽しめる	5.5%	8	日常の買い物が便利である	27.0%
9	学校などの教育環境がよい	3.8%	9	自宅付近の生活道路が整備されている	21.3%
10	通勤・通学など交通の便がよい	3.2%	10	川がきれい	20.6%

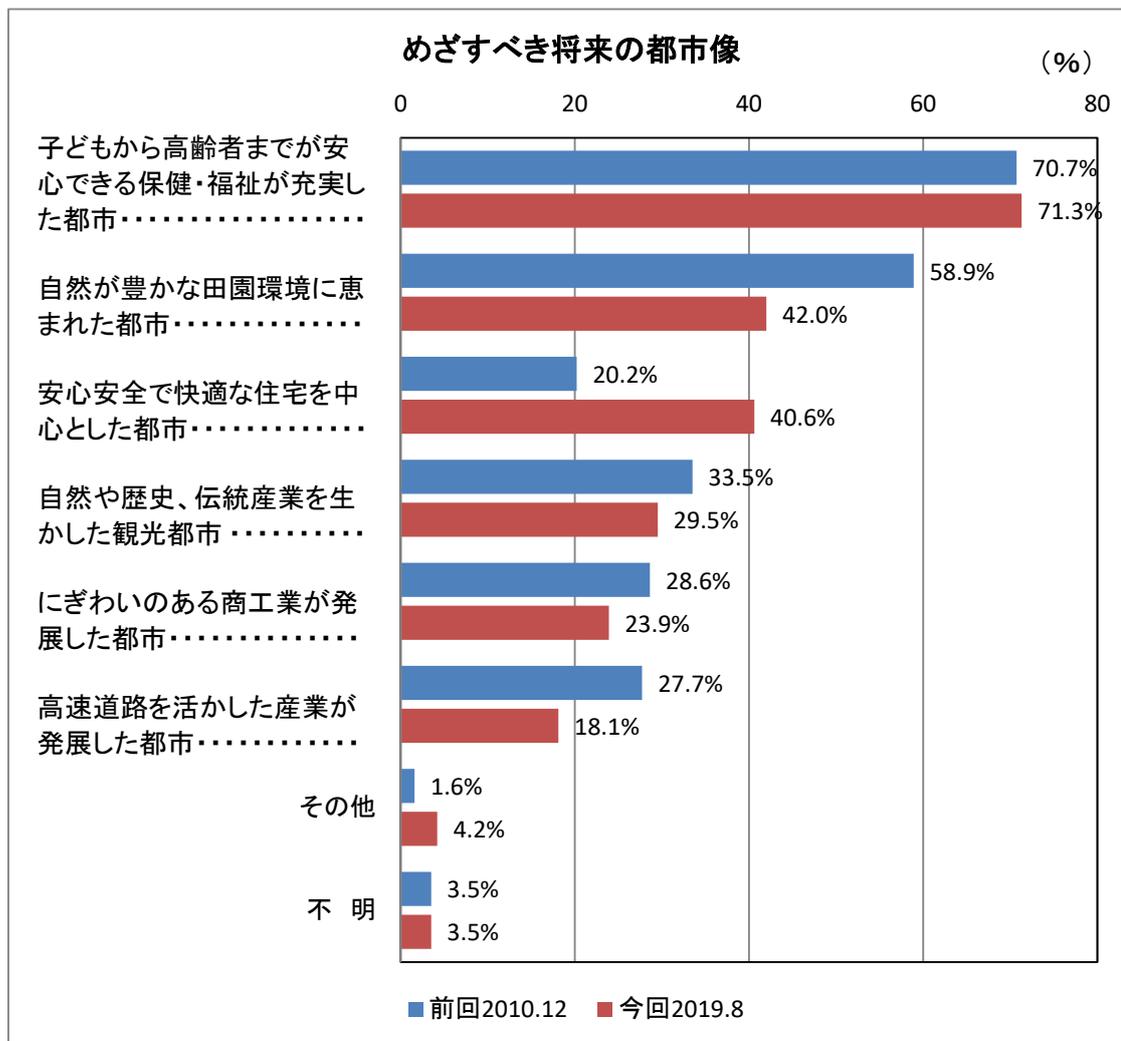
■住みにくい理由

今回(2019.8):住みにくい理由			前回(2010.12):五條市の良くないところ		
順位	項目	回答率	順位	項目	回答率
1	通勤・通学など交通の便が悪い	72.1%	1	鉄道が不便になってきている	69.5%
2	買い物など日常生活が不便である	56.2%	2	娯楽施設が少ない	66.2%
3	働く場が少ない	26.9%	3	バス交通が不便になってきている	56.7%
4	趣味や娯楽の場が少ない	26.9%	4	救急車や救急病院が整っていない	56.1%
5	医療の面で安心できない	19.3%	5	他都市への幹線道路が不便である	55.4%
6	近所付き合いが多くわずらわしい	10.7%	6	病院・医院が少なくなっている	48.2%
7	芸術・文化活動が乏しい	10.3%	7	就業の機会が少なくなっている	46.8%
8	行政サービスがよくない	9.3%	8	通勤のための交通が不便である	43.9%
9	学校などの教育環境がよくない	8.3%	9	スポーツ施設が少ない	37.9%
10	子育てがしにくい	7.2%	10	勤務地が自宅近くに見当たらない	37.8%

(3) めざすべき将来の都市像（複数回答）

将来の都市像については「子どもから高齢者までが安心できる保健・福祉が充実した都市」とした回答が71.3%と最も多く、次いで「自然が豊かな田園環境に恵まれた都市」（42.0%）、「安心安全で快適な住宅を中心とした都市」（40.6%）などとなっています。

概ね前回調査（2010.12）と同様な結果となっていますが、「安心安全で快適な住宅を中心とした都市」が20.2%から40.6%と倍増していることが特徴としてあげられます。

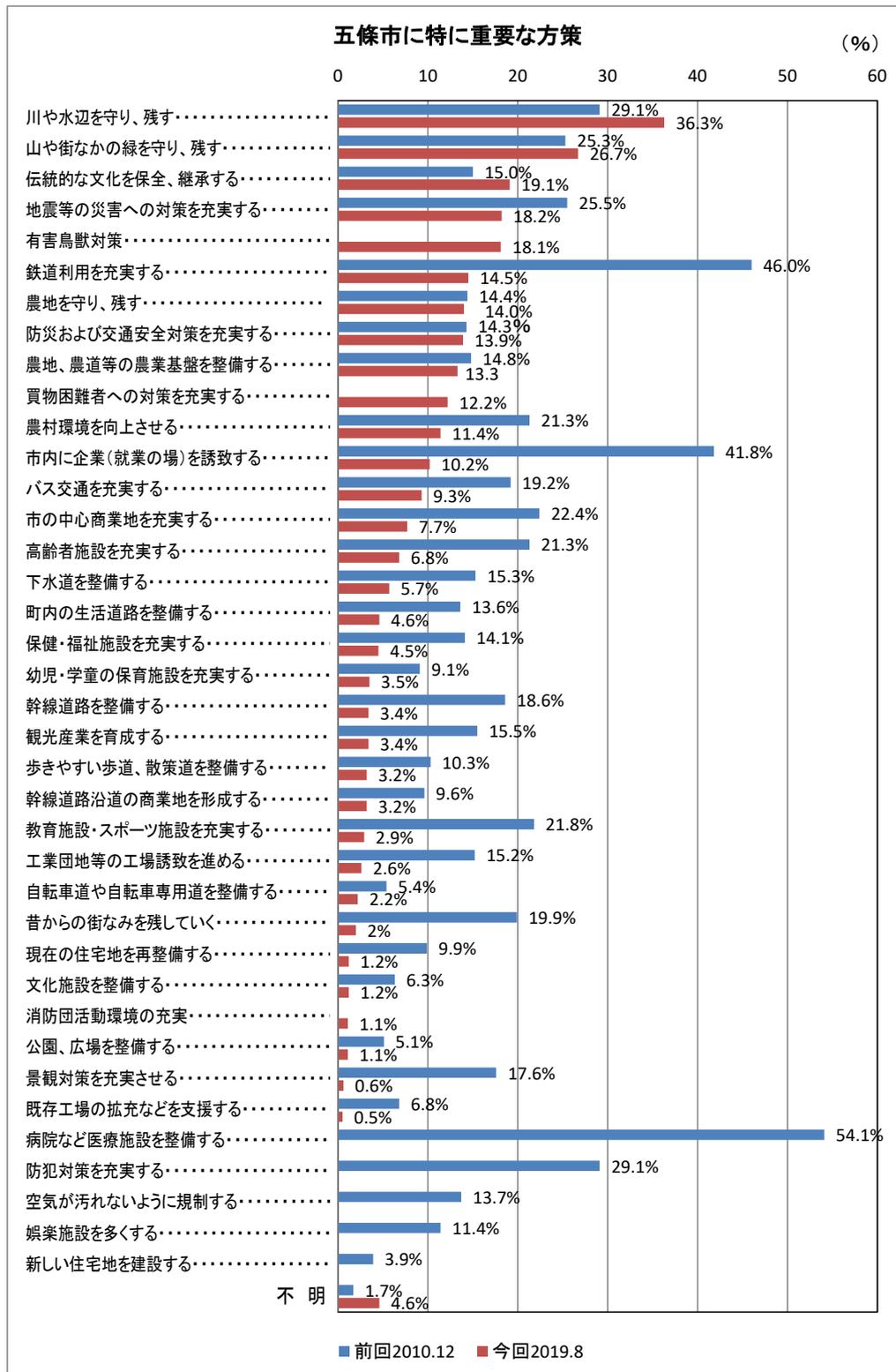


注)「自然が豊かな田園環境に恵まれた都市」は、前回の「川や緑に恵まれた都市」と「農地が広がり田園環境に恵まれた都市」を合算。

「高速道路を活かした産業が発展した都市」は、前回の「高速道路を活かした産業が発展した都市」と「工業が発展した都市」を合算。

(4) 五條市に特に重要な方策（複数回答）

より良いまちづくりを進める上で、特に重要な方策については「川や水辺を守り、残す」(36.3%)、「山や街なかの緑を守り、残す」(26.7%)、「伝統的な文化を保全、継承する」(19.1%)とした保全に関することと「地震等の災害への対策を充実する」(18.2%)と「防災および交通安全対策を充実する」(13.9%)の安全対策に関すること、「有害鳥獣対策」(18.1%)の回答数が多くなっています。

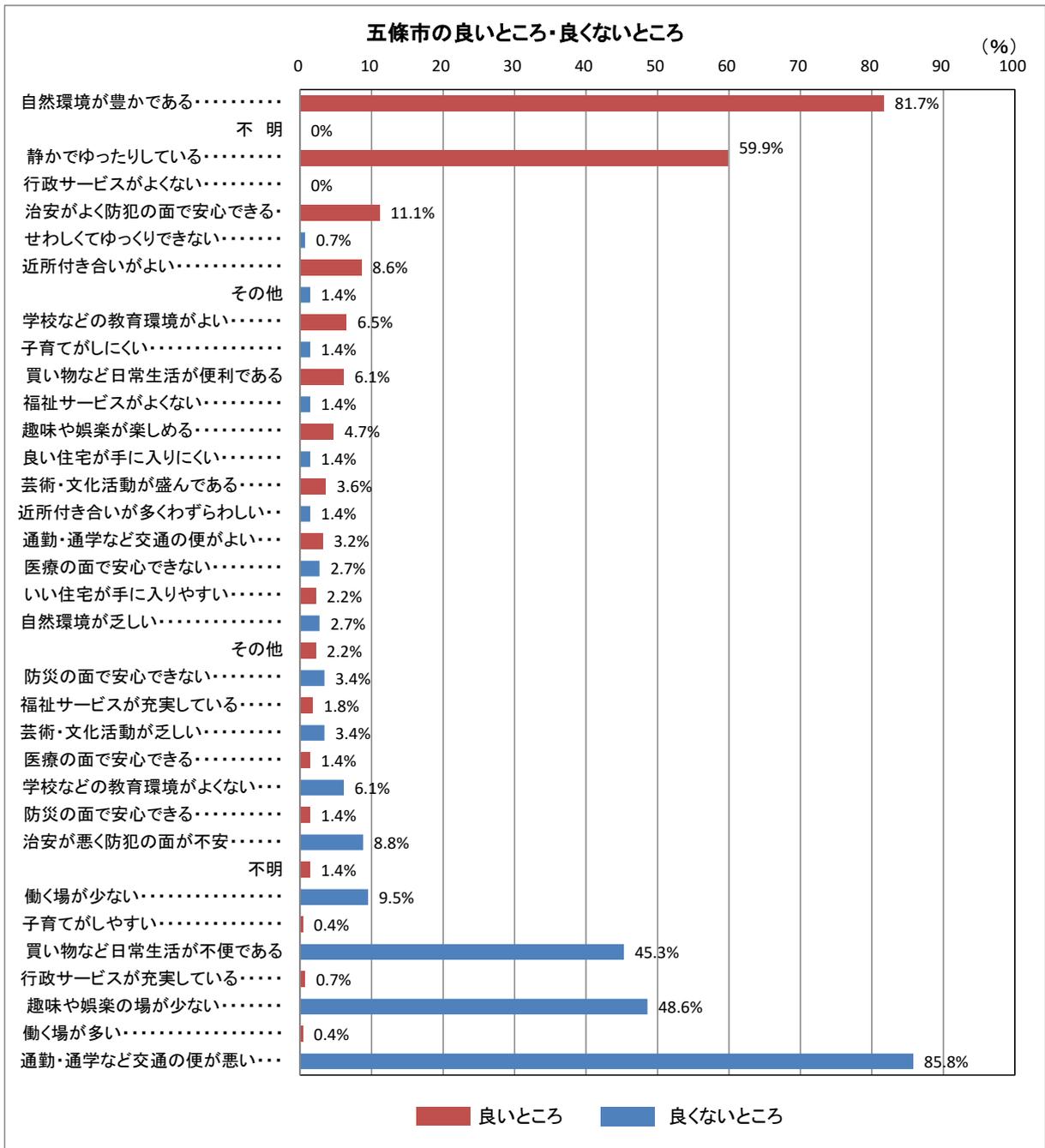


2-3 高校生アンケート調査結果（抜粋）

（1）五條市の良いところ、良くないところの理由（複数回答）

五條市の良いところについては、「自然環境が豊かである」（81.7%）、「静かでゆったりしている」（59.9%）、「治安がよく防犯の面で安心できる」（11.1%）、「近所付き合いがよい」（8.6%）などとした方の回答数が多くなっています。

一方、五條市の良くないところについては「通勤・通学など交通の便が悪い」（85.8%）、「趣味や娯楽の場が少ない」（48.6%）、「買い物など日常生活が不便である」（45.3%）、「働く場が少ない」（9.5%）などとした方の回答数が多くなっています。



(2) 五條市の良いところ、良くないところの経年比較

前回高校生アンケート調査(2010.12)と比較(前回:住みよい理由・住みにくい理由、今回:五條市の良いところ・良くないところ)すると、次のような傾向が読み取れます。
注) 前回回答は「いくつでも」で、今回回答は「3つまで」となっており、単純に比較はできませんが、傾向は読み取れると考え、比較を行いました。

「五條市の良いところ・住みよい理由」では、「自然環境の豊かさ」や「治安の良さ」が上位を占めているのは変化がありません。

一方、「五條市の良くないところ・住みにくい理由」では、「交通が不便(通学、買物等)」や「娯楽の場が少ない」「買い物など日常生活が不便」が上位を占めているのは変化がありません。

■住みよい理由

今回(2019.8):五條市の良いところ			前回(2010.12):住みよい理由		
順位	項目	回答率	順位	項目	回答率
1	自然環境が豊かである	81.7%	1	緑豊かな山々がある	61.6%
2	静かでゆったりしている	59.9%	2	空気がきれい	42.9%
3	治安がよく防犯の面で安心できる	11.1%	3	昔からの街なみが残されている	35.3%
4	近所付き合いがよい	8.6%	4	農地が多く、景色や環境が良い	34.3%
5	学校などの教育環境がよい	6.5%	5	災害が少ない	32.3%
6	買い物など日常生活が便利である	6.1%	6	川がきれい	29.5%
7	趣味や娯楽が楽しめる	4.7%	7	高等学校への通学が便利である	21.0%
8	芸術・文化活動が盛んである	3.6%	8	治安が良い	20.4%
9	通勤・通学など交通の便がよい	3.2%	9	親族や友人が多く住んでいる	20.2%
10	いい住宅が手に入りやすい	2.2%	10	伝統文化が豊かである	14.7%

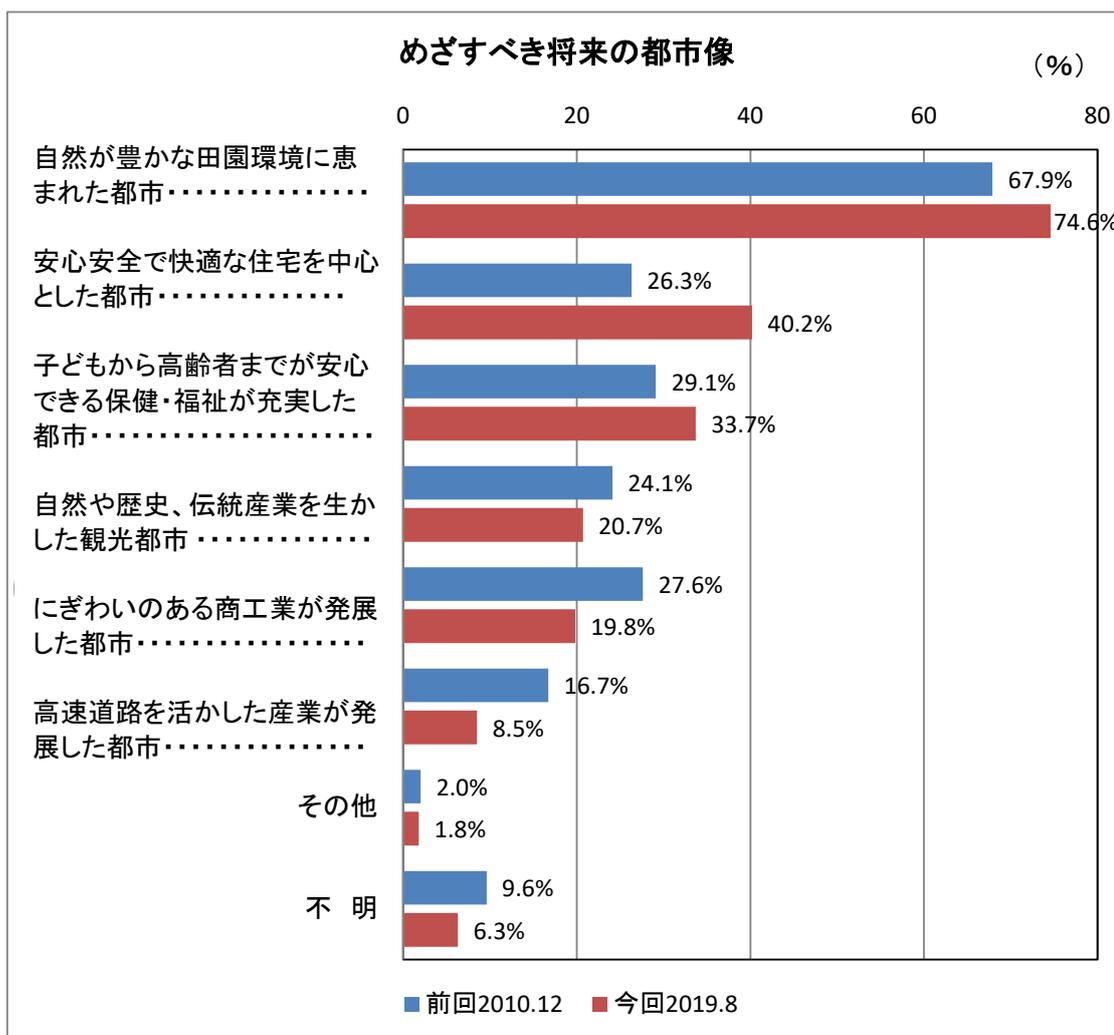
■住みにくい理由

今回(2019.8):五條市の良くないところ			前回(2010.12):住みにくい理由		
順位	項目	回答率	順位	項目	回答率
1	通勤・通学など交通の便が悪い	85.8%	1	鉄道が不便になってきている	69.8%
2	趣味や娯楽の場が少ない	48.6%	2	娯楽施設が少ない	55.3%
3	買い物など日常生活が不便である	45.3%	3	他都市への幹線道路が不便である	42.5%
4	働く場が少ない	9.5%	4	高等学校への通学が不便である	38.2%
5	治安が悪く防犯の面が不安	8.8%	5	日常の買物が不便になってきている	35.3%
6	学校などの教育環境がよくない	6.1%	6	バス交通が不便になってきている	34.1%
7	芸術・文化活動が乏しい	3.4%	7	大学や短期大学への通学が不便である	28.0%
8	防災の面で安心できない	3.4%	8	川が汚くなってきている	25.0%
9	自然環境が乏しい	2.7%	9	スポーツ施設が少ない	23.6%
10	医療の面で安心できない	2.7%	10	治安が悪くなってきている	21.7%

(3) めざすべき将来の都市像（複数回答）

将来の都市像については「自然が豊かな田園環境に恵まれた都市」とした回答が74.6%と最も多く、次いで、「安心安全で快適な住宅を中心とした都市」(40.2%)、「子どもから高齢者までが安心できる保健・福祉が充実した都市」(33.7%)などとなっています。

概ね前回調査(2010.12)と同様な結果となっていますが、「安心安全で快適な住宅を中心とした都市」が26.3%から40.2%と特に多くなっていることが特徴としてあげられます。



(4) 五條市に特に重要な方策（複数回答）

より良いまちづくりを進める上で、特に重要な方策については「山や街なかの緑を守り、残す」(36.0%)、「鉄道利用を充実する」(30.1%)「川や水辺を守り、残す」(28.8%)、「地震等の災害への対策を充実する」(16.2%)、「農地を守り、残す」(15.5%)とした回答数が多くなっています。

